

おりじん

[O・R・I・J・I・N]

2021年 夏号

発行／(株)四季工房「おりじん」編集室

〒963-0115 郡山市南二丁目84番地

TEL.024-937-6351 FAX.024-937-6341

<https://www.sikikobo.co.jp>



「木造のしやれたオフィス」 オーナー夫婦の夢を叶える建物 【旭日税理士法人様 社屋新築工事】



仙台市宮城野
区、楽天命命パー
ク(楽天球場)か
ら200mほど
の位置に約90

坪の新社屋建築中の旭日税理士法人さん。施主である桑畑夫妻に新社屋建築への思いや四季工房との出会いなど、施主と経営者という立場からお話を伺いました。

桑畑さまご夫妻は共に東京で税理士をしていらっしゃいました。奥さまのご実家も会計事務所をされておりましたが、後継者となるべく約20年前に仙台に夫婦で移り住むことになりました。初めは5名程であった職員さんも仙台2拠点、東京1拠点で総職員数34名にまで拡大され、ご主人は現在東北税理士会の専務理事をされております。会計事務所の殆どが個人事務所である中、法人化したのは「私に何かあつてはお客様に迷惑がかかる」との思いで、複数の職員で業務にあたるスタイルを選択されたとの事です。



桑畑弘道様・淳子様(宮城県仙台市)

そうしたなか利便性を考え仙台の2拠点を統合したいと思うようになり、賃貸物件を検討していたところ、会長(奥さまのお父様)から「良い土地物件があつたら新社屋を検討したらどうか?」との後押しがあり土地探しを始めたそうです。

健康と環境を考え、
職人がつくる家とは?

四季工房を知るきっかけは建築計画が始まる前からあつたようです。東京事務所に新幹線で往復した際、「トランヴェール」の広告を見ていて、機械に頼らない自然の力を利用したエアパス工法が、本来あるべき姿だと感じ、いつも気になっていました。また仕事でお付き合いのある大工さんに「いつか四季工房の仕事がしてみたい」という方が過去に2人いて、プロが携わりたい仕事とはどんな仕事なんだ!と。別々のシーンでしたが「トランヴェール広告」と「大工さんの話」がそこで一致した瞬間、四季工房に決められたとご主人。

土地の目処も付き弊社の展示場を訪れると、他の建物と清々しい空気感や居心地が全く違う事に驚いた。また展示場で働くフォロー



スタッフ（OB様）さんの住まい心地を生の声で聞いた事もとても良かったとのこと。弊社を見学頂いた後、ご夫妻はその「感じた

もの」を確かめるように他社の建物を見て回ったが、弊社の展示場を越えるものは無かったとのことをお言葉を頂きました。その後野崎（社長）と初対面した際は正直びっくりしましたと：。「仕事に臨む姿勢が真剣勝負！」住宅にかける熱い思いを感じ「この会社なら任せられるな」と建築の決定打となったそうです。

スタッフ全員の心地よさを求めて

事務所なのに「居心地ですか？」と訪ねると「少し仕事の効率は落ちるかも知れませんがねー」などと笑いながら、ご夫妻は新社屋を建築するなら「こだわりのある会社に頼みたい」「ありきたりではない」「飽きのこない」といった共通の思いがあり、中でも最優先は「みんなの居心地」



事務所の意匠は、梁柱など構造材をシンプルに表現



（レポート／施工 沼倉）

であることと声を揃えます。

税理士は、士業。業界では資格の有無で上下が決まる徒弟制度のようなものが未だ根強く残っている。うちは上も下も無いチームです。野球で例えるならピッチャーとキャッチャーが資格者であるが、ほかの野手やスタッフがいないければ試合に勝つ事が出来ません。だから最優先は「みんなの居心地」なんです。それが職員みんなに対する思いの表れであるところ、主人は熱く語ります。そうしたオーナーご夫妻の思いを事務所で働く職員さんを感じながら建物に愛着をもって頂ければと思います。現場はまだ施工中であります。現場はまだみなさんに最高の「居心地」を届けられるよう私共も一丸となって進めて参ります。完成の折にはまたご報告させていただきます。

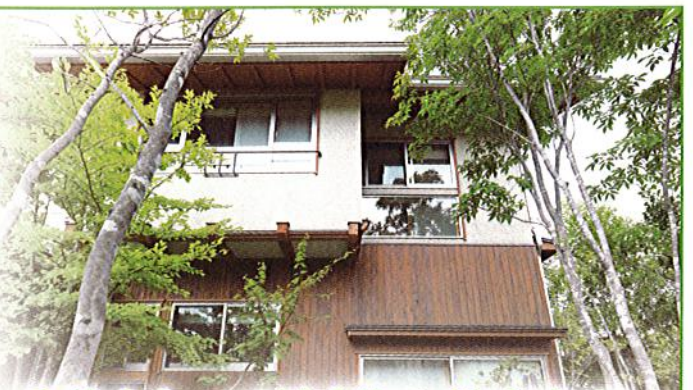
Series 未来につながるを考える①

断熱性能が高い=良い住宅?

今年の4月より建築主に対する省エネ規準性能の説明が義務化されました。それに伴い、断熱性能を示す値が住宅を選ぶ新基準のように捉えられています。はたして「快適さ」とはこのような数値だけで判断できるものなのでしょうか。この規準性能からは「心地良さ」の観点が大きく欠落しているのではと感じています。

「心地良さ」と「省エネ」のバランス

四季工房の家は、天然乾燥で作った地域産材の活用から職人さんの手仕事にいたるまで、建てる過程から無駄なエネルギーを使わず、CO2の排出の最も少ない方法で建てられています。つまり、家づくりの段階から環境に配慮した省エネ住宅です。そして、機械に頼らない、自然の力を有効に活用した「エアパス工法」と無垢の床材や漆喰の壁が「清々しい空気」や「住み心地の良さ」を生み出しています。環境と住む人の両方にやさしい家、まさに心地良さと省エネのバランスのとれた家だと思います。



愛着をもって長く住み継ぐ家が環境に1番やさしい家

その住み心地の良さから家への愛着が生まれて、気がついたら長く住み続ける家になっていた。それが長い目で見ると1番環境にやさしい、住宅の理想の姿ではないでしょうか。とはいえ、環境問題は待ったなしの状況です。暮らしの中で私達ひとりひとりに出来る省エネがまだまだあると思います。皆さまにも、日々の生活をもう一度見直していただいて、無理なくエコ生活を楽しみながら、四季工房の家を長く住み継いでいただけたら、より良い未来を一緒に築いていけると信じています。

（檜垣 元子）